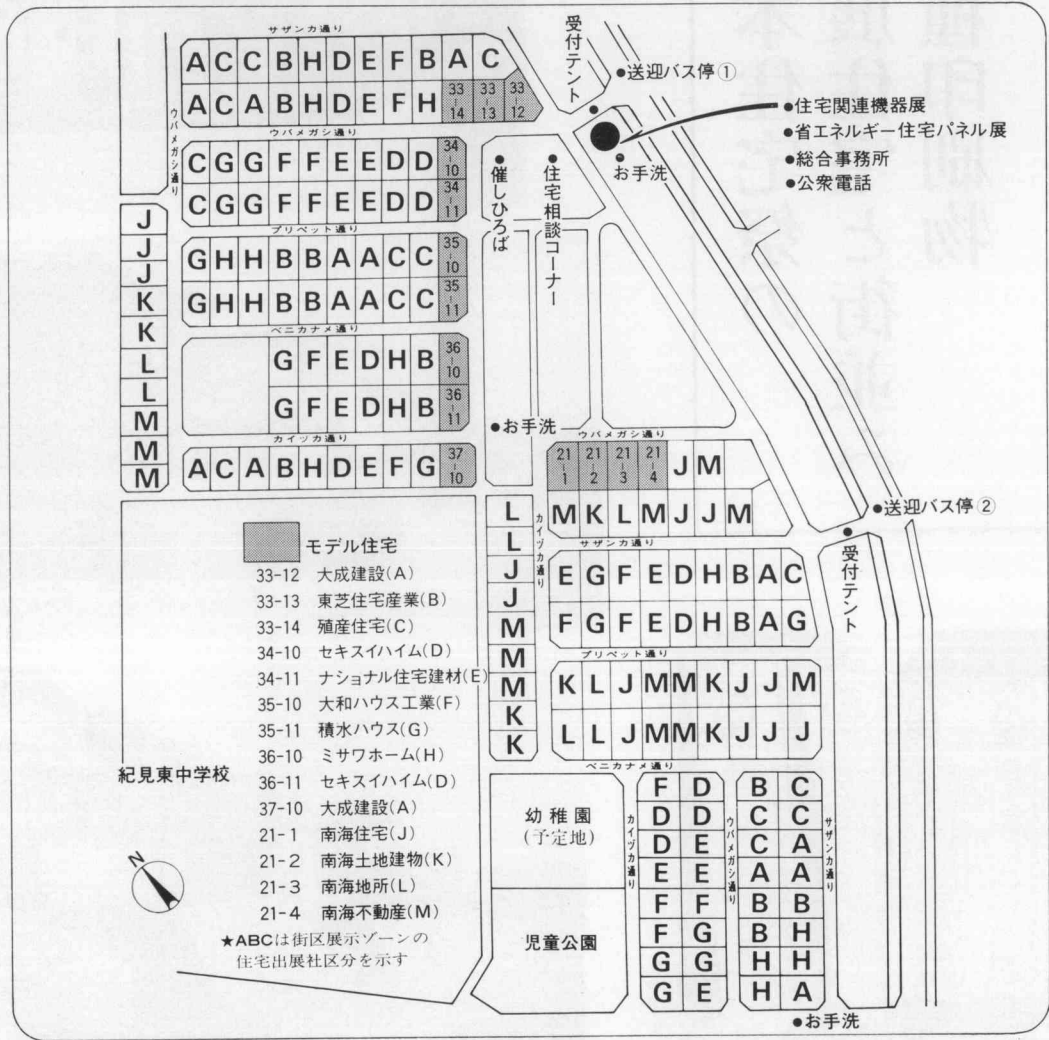


橋本住宅祭会場案内と出展住宅区分図



会場

南海電鉄が和歌山県橋本市に造成中の橋本林間田園都市の「城山台」地区。橋本林間田園都市は、総面積7300ヘクタールの土地に14000戸、人口5万人規模の新田園都市建設をめざすもので、昭和51年着工、昨年末B団地「城山台」の造成を完了した。

住宅展示

モデル住宅展示ゾーンと、街区展示ゾーンに分けられている。

モデル住宅展示ゾーンには出展12社の技術の粋をあつめたモデル住宅14棟が展示される。「緑と語らいの街づくり」のテーマにしたがい道路側に面する隣家との敷地境界を塀で区切らず、両方の敷地からそれぞれ植樹し、共有の緑をもつように工夫されている。またモデル住宅の道路側前面も、次にのべる街区展示ゾーン同様の工夫がこらされている。

街区展示ゾーンは、街路ごとに出席各社が工事管理を担当する。各戸の道路との境界はすべて生垣とし、生垣と道路との間には、80cm程度の低木の寄植をし、門扉の高さも1・2mまでに統一する。また道路の両側は、ベニカナメ、サザンカなど街区毎に統一した植樹をし、それぞれベニカナメ通り、サザンカ通りなどとし、街並みの美しさをもりあげる。

住宅関連機器展と省エネルギー住宅パネル展を会期中会場内で開催する。